

注3

大学番号：国009

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

岩手大学 人文社会科学部 地域政策課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部 戦略企画室

職名・氏名 センリヤクキカク シュサ ツツミダイスク
戦略企画グループ主査 堤 大輔

電話番号 019-621-6032

（夜間） 019-621-6032

F A X 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文社会科学部

<地域政策課程>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	26
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	29
6. 留意事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

<別添資料>

資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	54
資料2 岩手大学人文社会科学部総合的FD委員会規則	56

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名 岩手大学

(3) 大学の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3-18-34 (岩手県盛岡市上田3-18-8)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イワブチ アキラ 岩瀬 明 (平成27年3月)		
学部長	ヨコヤマ ヒデノブ 横山 英信 (平成28年4月)		
課程長	ウチダ ヒロシ 内田 浩 (平成28年4月)	ササオ トシアキ 笹尾 俊明 (平成29年4月)	課程長任期満了による変更(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人文社会科学部 地域政策課程 学士(総合科学)	法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係	4年	75人	3年次 4人	308人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75 (-) [-]	-	75 (-) [-]	-	() () []	() () []	() () []	() () []	1.06 倍	
志願者数	207 (-) [3]	-	252 (-) [7]	-	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	152 (-) [3]	-	195 (-) [4]	-	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	84 (-) [1]	-	86 (-) [2]	-	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	79 (-) [1]	-	81 (-) [2]	-	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	79 [1] (-)	- [-] (-)	81 [2] (-)	- [-] (-)					
2年次	/		79 [1] (-)	- [-] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	79 [1] (-)		160 [3] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	79 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	81 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	160 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文社会科学部 地域政策課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 実践知科目 転換教育科目 技法知科目 外国語科目	基礎ゼミナール	1前	1			1 3	4 1 4					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(初級)	1前・後		1							兼9 兼8 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(初級)	1前・後		1							兼10 兼9 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(中級)	1前・後		1							兼10 兼13 兼11	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(中級)	1前・後		1							兼12 兼14 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(上級)	1前・後		1							兼10 兼11 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(上級)	1前・後		1							兼10 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(初級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(初級)	1前・後		1							兼9 兼7 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(中級)	1前・後		1							兼9 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(中級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(上級)	1前・後		1							兼7 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語コミュニケーションⅡ(上級)	1前・後		1							兼8 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	英語基礎	1前			1						兼1	
	英語発展A	2・3前		1							兼1	
	英語発展B	2・3後		1							兼1	
	英語発展C	2・3前		1							兼1	
	英語発展D	2・3後		1							兼1	
	英語発展E	2・3前		1							兼1	
	英語発展F	2・3後		1							兼1	
	英語発展G	2・3前		1							兼1	
	英語発展H	2・3後		1							兼1	
	初級ドイツ語(入門)	1前・後		1							兼8 兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	初級ドイツ語(発展)	1前・後		1							兼9 兼10 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	中級ドイツ語	1後		1							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	初級フランス語(入門)	1前・後		1							兼10 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	初級フランス語(発展)	1前・後		1							兼9	
	中級フランス語	1後		1							兼3	
	初級ロシア語(入門)	1前		1							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	初級ロシア語(発展)	1前		1							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	中級ロシア語	1後		1							兼2 兼3	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	初級中国語(入門)	1前・後		1							兼5	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	初級中国語(発展)	1前・後		1							兼6 兼5 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	中級中国語	1後		1							兼2	
	初級韓国語(入門)	1前		1							兼3	
	初級韓国語(発展)	1前・後		1							兼3	
	中級韓国語	1後		1							兼2	
	上級日本語A	1前		1							兼1	
	上級日本語B	1前		1							兼1	
	上級日本語C	1前		1							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	上級日本語D	1前		1							兼1	
	上級日本語E	1後		1							兼1	
	上級日本語F	1後		1							兼1	
	上級日本語G	1後		1							兼2	
上級日本語H	1後		1							兼1		
健康・スポーツ科目	健康・スポーツA	1前	1								兼5 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツB	1後		1							兼5 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツC(シーズン)	1・2後		1							兼1 兼2	集中 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
情報科目	情報基礎	1前	2								兼10 兼14 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
学問知科目	文化科目 哲学の世界	1・2前・後		2		1					兼1	
	倫理学の世界	1・2後		2							兼1	
	日本の思想と文化	1・2前・後		2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	アジアの思想と文化	1・2前		2							兼1	
	欧米の思想と文化	1・2前・後		2							兼1	
	日本の歴史と文化	1・2前・後		2							兼1 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	アジアの歴史と文化	1・2後		2							兼1	
	欧米の歴史と文化	1・2前・後		2							兼1 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	ジェンダーの歴史と文化	1・2前		2							兼1	
	女性と科学の関係史	1・2後		2							兼1	
	大学の歴史と現在	1・2前		2							兼1	
	岩手大学ミュージアム学	1・2前		2							兼1	
	心の理解	1・2前・後		2							兼6 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	日本の文学	1・2前・後		2							兼2	
	言葉の世界	1・2前・後		2							兼2 兼3	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	中国の文学	1・2前・後		2							兼1	
	欧米の文学	1・2後		2							兼1	
	欧米の言語論	1・2前		2							兼1	
	芸術の世界	1・2前・後		2							兼2	
	日本語表現技術入門	1・2前		2							兼1	
	図書館への招待	1・2後		2							兼1	
	コミュニケーションの現在	1・2後		2							兼1	
	心と表象	1・2前		2							兼1	
	日本事情A	1・2前		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会 科目	日本事情B	1・2後		2							兼1	
	英語で学ぶ日本の文化	1・2前		2							兼1	
	市民生活と法	1・2前		2		1 2	2					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29)
	憲法	1・2前・後		2		1	3				兼1	
	経済のしくみ	1・2前・後		2		1 2 3	3 2 3					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	現代社会と経済	1・2前・後		2		1 2	1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	市民と政治	1・2前		2							兼2	
	現代政治を見る眼	1・2後		2							兼2	
	社会的人間論	1・2前・後		2			1				兼3 兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
	現代社会の社会学	1・2前・後		2			1				兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	地域と生活	1・2前		2							兼2 兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	地域と社会	1・2後		2							兼2 兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	対人関係の心理学	1・2前・後		2							兼3	
	知的財産入門	1・2前		2			1					集中
	知財ワークショップ	1・2後		2			1					集中
	キャリアを考える	1・2前・後		2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
科学・技術と現代社会	1・2前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ボランティアとリーダーシップ	1・2前		2							兼1	集中
	現代の諸問題	1・2前		2			1				兼2 兼3	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	公共社会	1・2前		2			1					
	多文化コミュニケーションA	1・2前		2							兼1	
	多文化コミュニケーションB	1・2後		2							兼1	
自然 & 科学 技術 科目	生命のしくみ	1・2前・後		2		1					兼3	
	自然のしくみ	1・2前・後		2							兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	自然と数理	1・2前・後		2							兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	数理のひろがり	1・2前・後		2							兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	宇宙のしくみ	1・2前・後		2							兼2	
	物質の世界	1・2前・後		2			1				兼1	
	自然と法則	1・2前・後		2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	自然と数理の世界	1・2前		2							兼1	
	自然の科学	1・2前		2							兼1	
	科学と技術の歴史	1・2後		2							兼1	
	くらしと科学技術	1・2後		2							兼1	
	科学技術	1・2前		2							兼1	
環境 科目	「環境」を考える	1後		2		1					兼1 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	生活と環境	1後		2							兼1	
	都市と環境	1後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	地域の環境保全を考える	1後		2		1						
	地球環境と社会	1後		2							兼1	
	水と環境	1後		2							兼1	
	廃棄物と環境	1後		2							兼1	
	植物栽培と環境テクノロジー	1後		2							兼1	
	森林と環境	1後		2							兼1	
	動物と環境	1後		2							兼1	
	人の暮らしと生物環境	1後		2							兼1	
	環境マネジメントと岩手大学	1後		2		+	1					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29)
	環境の科学	1後		2							兼1	
地域 関連 科目	現代社会をみる視角	1・2後		2		+	1					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	岩手の研究	1・2後		2		1						
	環境マネジメント実践学	1・2前		2			1					
	いわて学Ⅰ	1・2前		2							兼1 集中	
	いわて学Ⅱ	1・2後		2							兼1 集中	
	宮沢賢治の世界	1・2後		2							兼1	
	危機管理と復興	1・2後		2							兼1 集中	
	持続可能なコミュニティづくり実践学	1・2前		2			1					
	地元の企業に学ぶESD	1・2後		2			1					
	地場産業・企業論	1・2前		2							兼1 集中	
	三陸の研究	1・2後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
実践 知 科 目	地域 関 連 科 目	自然災害と社会	1・2前	2							兼1	
		東北の歴史	1・2後	2							兼1	
		地域を考える	1・2前	2							兼1	
		地域と国際社会	1・2後	2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29)
		海外研修－世界から地域を考える－	1・2前	2							兼2 兼1	集中 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29)
	地域 課 題 演 習 科 目	初年次自由ゼミナール	1後	1							兼7 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
		地域課題演習A	2・3前	2							兼1	集中
		地域課題演習B	2・3後	2							兼1	集中
		地域課題演習C	2・3前	2							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
		地域課題演習D	2・3後	2							兼1	
		地域課題演習E	2・3前	2							兼1	集中
		地域課題演習F	2・3後	2							兼1	集中
		地域課題演習G	2・3前	2							兼1	
地域課題演習H	2・3後	2							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	総合科学論 I	3前	2			10 9	11 12				兼46	昇任により職位変更(29)	
	総合科学論 II	3後	2			10 9	11 12				兼46	昇任により職位変更(29)	
	日韓学生の協働研修I	2・3前		2							兼2		
	日韓学生の協働研修II	2・3前		2							兼2		
	西部カトリック大学語学研修	2・3後		2							兼2		
	課題解決型国際研修 (英語)	1・2後		2		1	2	2			兼2 兼4	兼任教員を専任と記載していたため訂正(29) 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	課題解決型国際研修 (ドイツ語)	1・2後		2		2	2				兼1	兼任教員を専任と記載していたため訂正(29) 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	課題解決型国際研修 (フランス語)	1・2後		2		2	2				兼1	兼任教員を専任と記載していたため訂正(29) 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
課題解決型国際研修 (中国語)	1・2後		2		2	2				兼1	兼任教員を専任と記載していたため訂正(29) 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)		
課程科目	課程導入科目	地域政策入門A	1前	2		4 9	7 12					オムニバス	授業内容に基づく担当教員数見直し(28)
		地域政策入門B	1前	2		5 9	5 12					オムニバス	授業内容に基づく担当教員数見直し(28)
課程共通科目	民法(総則) I	1前	2			1	1						
	民法(総則) II	1後	2	2		1	1						
	経済学基礎 I	1前	2			1	1						
	経済学基礎 II	1後	2			1	1						
	環境政策論 I	1後	2			1	1						
	環境経済論 I	1後	2		2	1	1						昇任により職位変更(28)
特別研究	4通	6			10 9	11 12						昇任により職位変更(29)	
	人間文化入門	1前		2		25 25	21 21	1			兼12 兼8 兼47	授業内容に基づく担当教員数見直し(29) 記入誤り及び授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	人間文化研究	1後		2		25 25	21 21	1			兼12 兼47	授業内容に基づく担当教員数見直し(29) 記載誤り(28)	
	国際交流研修	1前		2		25 25	21 21	1			兼8 兼6 兼47	授業内容に基づく担当教員数見直し(29) 記入誤り及び授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	国際課題研修(芸術)	2後		2		5	1				兼6	記載誤り(28)	
	日本語表現基礎	2前・後 2前		2		1	1				兼3 兼2	学生の受講機会を増やすため後期にも開講。授業内容に基づく担当教員数見直し(29) 記載誤り(28)	
	日本語読解基礎	2前・後 2前		2		1	1				兼2	学生の受講機会を増やすため後期にも開講。 記載誤り(28)	
	ドイツ語基礎	2後		2		1					兼1	記載誤り(28)	
	フランス語基礎	2後		2		1	2				兼6	記載誤り(28)	
	ロシア語基礎	2・3後		2							兼1	記載誤り(28)	
	中国語基礎	2・3後		2			1				兼1	記載誤り(28)	
	韓国語基礎	2・3後		2			1				兼1	記載誤り(28)	
	社会調査法	1後		2		1	1				兼2	記載誤り(28)	
	人間行動論	2前		2		8	5				兼13	オムニバス 記載誤り(28)	
	スポーツ科学論	1後 2前		2		2	1				兼3	オムニバス 記載誤り(28)	
	現代文化論	2前		2		4					兼4	オムニバス 記載誤り(28)	
	異文化間コミュニティ論	2前		2			3				兼3	オムニバス 記載誤り(28)	
	芸術文化論	2前		2		5	1				兼6	オムニバス 記載誤り(28)	
	歴史学概論	2前		2		3	1				兼4	オムニバス 記載誤り(28)	
	英語圏文化論	2前		2		4	1	1			兼6	オムニバス 記載誤り(28)	
	ヨーロッパ語圏文化論	2前		2		2	5				兼7	オムニバス 記載誤り(28)	
	アジア圏文化論	2前		2		3	2				兼5	オムニバス 記載誤り(28)	
	絵画基礎	1前		2							兼1		
	彫刻基礎	1後		2							兼1		
	工芸基礎	1後		2		1					兼1	記載誤り(28)	
	デザイン基礎A	1前		2		1					兼1	記載誤り(28)	
	デザイン基礎B	1後		2		1					兼1	記載誤り(28)	
	書法基礎	1後		2		1	1				兼2	記載誤り(28)	
ドイツ語コミュニケーション基礎	1後		2		1					兼2 兼4	ネイティブ教員に加えて日本人教員を配置することにより、より確実な文法知識に基づいたコミュニケーション能力の養成を図るため(29) 記載誤り(28)		
フランス語コミュニケーション基礎	1後		2		1					兼1	記載誤り(28)		
ロシア語コミュニケーション基礎	1後		2			1				兼1	記載誤り(28)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手				
政策法務専修プログラム 基礎科目	憲法（人権）Ⅰ	2前		2			1				※1	副			
	憲法（人権）Ⅱ	2後		2			1				※1	副			
	憲法（統治機構）Ⅰ	2・3前		2			1				※1	副			
	憲法（統治機構）Ⅱ	2・3後		2			1				※1から4単位を選択	隔年	副		
	刑法総論Ⅰ	2前		2		1					※1				
	刑法総論Ⅱ	2後		2		1									
	政治学（政治過程）	2前		2							兼1	※1	集中	副	兼任教員都合により、毎週開講は困難なため(29)
	環境生態学A	2前		2		1						この中から2単位を選択	副		
	自然環境学A	2前		2		1								副	
	民法（物権）Ⅰ	2・3前		2			1						隔年	副	
	民法（物権）Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副	
	民法（債権総論）Ⅰ	2・3前		2		1							隔年	副	
	民法（債権総論）Ⅱ	2・3後		2		1							隔年	副	
	民法（債権各論）Ⅰ	2・3前		2		1							隔年	副	
	民法（債権各論）Ⅱ	2・3後		2		1							隔年	副	
	民法（家族法）Ⅰ	2・3前		2		1							隔年	副	
	民法（家族法）Ⅱ	2・3後		2		1							隔年	副	
	民法（相続法）	2・3後		2		1							隔年	副	
	労働法Ⅰ	2・3前		2			1						隔年	副	
	労働法Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副	
	雇用管理法	2・3・4前		2				1					3年1回	副	
	社会保障法	2・3・4後		2				1					3年1回	副	
	刑法各論Ⅰ	2・3前		2		1							隔年	副	
	刑法各論Ⅱ	2・3後		2		1							隔年	副	
	刑事訴訟法Ⅰ	2・3前		2			1						隔年	副	
	刑事訴訟法Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副	
	行政法（作用法総論）Ⅰ	2・3前		2							兼1		隔年	副	
	行政法（作用法総論）Ⅱ	2・3後		2							兼1		隔年	副	
	行政法（救済法）Ⅰ	2・3前		2							兼1		隔年	副	
	行政法（救済法）Ⅱ	2・3後		2							兼1		隔年	副	
	政治学（政治理論）	2後		2							兼1	集中	副	兼任教員都合により、毎週開講は困難なため(29)	
	行政学Ⅰ	2・3前		2							兼1		隔年	副	
	行政学Ⅱ	2・3後		2							兼1		隔年	副	
	地方自治法	2・3・4後		2							兼1		3年1回	副	
	刑事政策	2・3後		2			1						隔年	副	
	基礎法A	2・3前		2			1						隔年	副	
基礎法B	2・3後		2			1						隔年	副		
国際法A	2・3前		2							兼1	集中	隔年	副	より総合的な教育を可能とする目的のため科目を追加(29)	
国際法B	2・3前		2							兼1	集中	隔年	副	より総合的な教育を可能とする目的のため科目を追加(29)	
財政学Ⅰ	2後 2前		2			1							副	新規採用教員の採用時期が後期になるため(29)	
財政学Ⅱ	2後		2			1							副		
社会保障論Ⅰ	2前		2							兼1			副		
社会保障論Ⅱ	2後		2							兼1			副		
環境政策論Ⅱ	2前		2			1							副		
プログラム展開科目	地域政策実践演習A	3後		2		1					この中から2単位を選択	副			
	地域政策実践演習B	3後		2			1						副		
	国際政治学Ⅰ	3・4前		2						兼1		隔年	副		
	国際政治学Ⅱ	3・4後		2						兼1		隔年	副		
	少年法	3・4前		2						兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講A	3・4前		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講B	3・4前		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講C	3・4前		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講D	3・4後		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講E	3・4後		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	法律学特講F	3・4後		2		3	5			兼1	集中	隔年	副		
	地方財政論	3・4前		2			1						隔年	副	
	公会計論	3・4前		2				4			兼1		隔年	副	講入のため修正(29)
	政治学演習Ⅰ	3前		2		1				兼1				競争担当。取替年度は等任となる予定のため修正(29)	
	政治学演習Ⅱ	3後		2		1				兼1				競争担当。取替年度は等任となる予定のため修正(29)	
	憲法演習Ⅰ	3前		2			1							副	
憲法演習Ⅱ	3後		2			1							副		
民法（財産法）演習Ⅰ	3前		2		1	1							副		
民法（財産法）演習Ⅱ	3後		2		1	1							副		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
企業法務専修プログラム	民法(物権)Ⅰ	2・3前		2			1					※1	隔年	副		
	民法(物権)Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副		
	民法(債権総論)Ⅰ	2・3前		2		1						※1	隔年			
	民法(債権総論)Ⅱ	2・3後		2		1						※1	隔年			
	民法(債権各論)Ⅰ	2・3前		2		1						※1	隔年	副	※1から4単位を選択	
	民法(債権各論)Ⅱ	2・3後		2		1						※1	隔年	副		
	会社法Ⅰ	2・3前		2			1					※1	隔年	副		
	会社法Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副		
	労働法Ⅰ	2・3前		2			1					※1	隔年	副		
	労働法Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	副		
	環境生態学A	2前		2		1								副		この中から2単位を選択
	自然環境学A	2前		2			1							副		
	憲法(人権)Ⅰ	2前		2				1							副	
	憲法(人権)Ⅱ	2後		2				1							副	
	民法(家族法)Ⅰ	2・3前		2			1							隔年		
	民法(家族法)Ⅱ	2・3後		2			1							隔年		
	民法(相続法)	2・3後		2			1							隔年		
	刑法総論Ⅰ	2前		2			1									
	刑法総論Ⅱ	2後		2			1									
	刑法各論Ⅰ	2・3前		2			1							隔年		
	刑法各論Ⅱ	2・3後		2			1							隔年		
	商法(総則)	2・3前		2				1						隔年	副	
	商法(商取引法)	2・3後		2				1						隔年	副	
	民事訴訟法Ⅰ	2・3前		2								兼1		隔年	副	
	民事訴訟法Ⅱ	2・3後		2								兼1		隔年	副	
	雇用管理法	2・3・4前		2				1						3年1回	副	
	基礎法A	2・3前		2				1						隔年		
	基礎法B	2・3後		2				1						隔年		
	国際法A	2・3前		2								兼1	集中	隔年		より総合的な教育を可能とする目的のため科目を追加(29)
	国際法B	2・3前		2								兼1	集中	隔年		より総合的な教育を可能とする目的のため科目を追加(29)
	理論経済学Ⅰ	2前		2				1							副	
	理論経済学Ⅱ	2後		2				1							副	
	政治経済学Ⅰ	2前		2				1							副	
	政治経済学Ⅱ	2後		2				1							副	
	会計学Ⅰ	2前		2					+			兼1				誤記入のため修正(29)
	会計学Ⅱ	2後		2						+		兼1				誤記入のため修正(29)
	経営学総論Ⅰ	2前		2			1					兼1			副	教員の異動に伴う変更(29)
	経営学総論Ⅱ	2後		2			1					兼1			副	教員の異動に伴う変更(29)
	簿記論Ⅰ	2前		2								兼1			副	
	簿記論Ⅱ	2後		2								兼1			副	
金融論	2前		2								兼1	集中				
環境経済論Ⅱ	2前		2			1		+							昇任により職位変更(29)	
プログラム展開科目	地域政策実践演習A	3後		2			1							副		この中から2単位を選択
	地域政策実践演習B	3後		2			1							副		
	金融法	2・3・4後		2				1				兼+	3年1回	副	専任教員が担当(29)	
	知的財産法	2・3・4前		2								兼1	集中	3年1回		
	法律学特講A	3・4前		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	法律学特講B	3・4前		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	法律学特講C	3・4前		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	法律学特講D	3・4後		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	法律学特講E	3・4後		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	法律学特講F	3・4後		2		3	5					兼1	集中	隔年		
	管理会計論	3・4前		2								兼1	集中	隔年		
	企業論	3・4前		2								兼1	集中	隔年		
	労働経済論	3前		2								兼1				
	環境経済論特講	3前		2		1		+								昇任により職位変更(29)
	政治学演習Ⅰ	3前		2			1					兼+				理事担当。最終年度は専任となる予定のため修正(29)
	政治学演習Ⅱ	3後		2			1					兼+				理事担当。最終年度は専任となる予定のため修正(29)
	憲法演習Ⅰ	3前		2				1								
	憲法演習Ⅱ	3後		2				1								
	民法(財産法)演習Ⅰ	3前		2		1	1									
	民法(財産法)演習Ⅱ	3後		2		1	1									
民法(家族法)演習Ⅰ	3前		2		1	1										
民法(家族法)演習Ⅱ	3後		2		1	1										

商法演習 I	3前	2		1						
商法演習 II	3後	2		1						
刑法演習 I	3前	2	1							
刑法演習 II	3後	2	1							
刑事訴訟法演習 I	3前	2		1						
刑事訴訟法演習 II	3後	2		1						
労働法演習 I	3前	2		1						
労働法演習 II	3後	2		1						
理論経済学演習 I	3前	2		1						
理論経済学演習 II	3後	2		1						
政治経済学演習 I	3前	2		1						
政治経済学演習 II	3後	2		1						
財政学演習 I	3前	2		1						
財政学演習 II	3後	2		1						
農業経済論演習 I	3前	2	1							
農業経済論演習 II	3後	2	1							
国際経済論演習 I	3前	2	1							
国際経済論演習 II	3後	2	1							
経営学演習 I	3前	2	1							
経営学演習 II	3後	2	1							
会計学演習 I	3前	2			+		兼1			誤記入のため修正(29)
会計学演習 II	3後	2			+		兼1			誤記入のため修正(29)
環境政策論演習 I	3前	2		1						
環境政策論演習 II	3後	2		1						
環境経済論演習 I	3前	2	1		+					昇任により職位変更(29)
環境経済論演習 II	3後	2	1		+					昇任により職位変更(29)
環境文化論演習 I	3前	2	1							
環境文化論演習 II	3後	2	1							
環境社会学演習 I	3前	2		1						
環境社会学演習 II	3後	2		1						
自然環境学演習 I	3前	2			1		兼1			誤記入のため修正(29)
自然環境学演習 II	3後	2			1		兼1			誤記入のため修正(29)
環境生態学演習 I	3前	2	1							
環境生態学演習 II	3後	2	1							

この中
からのI
とIIの
4単位
を選択

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

会計学演習 I	3前	2			±	兼1	誤記入のため修正(29)
会計学演習 II	3後	2			±	兼1	
環境政策論演習 I	3前	2			1		昇任により職位変更 (29)
環境政策論演習 II	3後	2			1		
環境経済論演習 I	3前	2		1	±		昇任により職位変更 (29)
環境経済論演習 II	3後	2		1	±		
環境文化論演習 I	3前	2		1			この中 からの I と II の 4 単位 を選択
環境文化論演習 II	3後	2		1			
環境社会学演習 I	3前	2			1		誤記入のため修正(29)
環境社会学演習 II	3後	2			1		
自然環境学演習 I	3前	2			1 2 1 2	兼1	誤記入のため修正(29)
自然環境学演習 II	3後	2			1 2	兼1	誤記入のため修正(29)
環境生態学演習 I	3前	2		1			理事担当。最終年度は専任 となる予定のため修正(29)
環境生態学演習 II	3後	2		1			
政治学演習 I	3前	2		1		兼1	理事担当。最終年度は専任 となる予定のため修正(29)
政治学演習 II	3後	2		1		兼1	
憲法演習 I	3前	2			1		
憲法演習 II	3後	2			1		
民法(財産法)演習 I	3前	2		1	1		
民法(財産法)演習 II	3後	2		1	1		
民法(家族法)演習 I	3前	2		1			
民法(家族法)演習 II	3後	2		1			
商法演習 I	3前	2			1		
商法演習 II	3後	2			1		
刑法演習 I	3前	2		1			
刑法演習 II	3後	2		1			
刑事訴訟法演習 I	3前	2			1		
刑事訴訟法演習 II	3後	2			1		
労働法演習 I	3前	2			1		
労働法演習 II	3後	2			1		

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
環境共生専修プログラム	環境政策論Ⅱ	2前		2			1						この中から4単位を選択	副	昇任により職位変更(29)
	環境経済論Ⅱ	2前		2		1	+					副			
	環境文化論Ⅰ	2前		2		1						副			
	環境文化論Ⅱ	2後		2		1						副			
	環境社会学Ⅰ	2前		2			1						副	昇任による職位変更及び授業内容に基づく担当教員数見直し(29)	
	環境社会学Ⅱ	2後		2			1					副			
	持続可能な社会論	2後	2				3	2	1	6			副		
	環境生態学A	2前		2			1						※1	※1の中から2単位を選択	副
	環境生態学B	2後		2			1						※1	副	
	自然環境学A	2前		2				1						副	
	自然環境学B	2後		2				1						副	
	環境統計学Ⅰ	2前		2							兼1	集中	毎週開講形式の方が教育効果が高まるため(29)	副	
	環境統計学Ⅱ	2後		2							兼1	集中	毎週開講形式の方が教育効果が高まるため(29)	副	
	憲法(統治機構)Ⅰ	2・3前		2				1				隔年	副	3年1回	
	憲法(統治機構)Ⅱ	2・3後		2				1				隔年	副		
	地方自治法	2・3・4後		2							兼1				
	政治学(政治過程)	2前		2							兼1	集中	兼任教員都合により、毎週開講は困難なため(29)	副	
	政治学(政治理論)	2後		2							兼1	集中	兼任教員都合により、毎週開講は困難なため(29)	副	
	行政学Ⅰ	2・3前		2							兼1	隔年	副		
	行政学Ⅱ	2・3後		2							兼1	隔年	副		
	理論経済学Ⅰ	2前		2				1						副	教員の異動に伴う変更(29)
	理論経済学Ⅱ	2後		2				1						副	
	経営学総論Ⅰ	2前		2				1			兼1			副	
	経営学総論Ⅱ	2後		2				1			兼1			副	
	農業経済論Ⅰ	2前		2				1						副	新規採用教員の採用時期が後期になるため(29)
	農業経済論Ⅱ	2後		2				1						副	
	財政学Ⅰ	2後 2前		2				1						副	
	財政学Ⅱ	2後		2				1						副	
	ミクロ経済学	2前		2							兼1	集中		副	
	国際開発と環境・貧困	2・3後		2				1				隔年	副	調記入及び昇任による職位変更(29)	
	環境科学演習	2前	2				3	2	3	5		調記入のため修正(29)	副		
	環境科学実験	2前		2				1	1	2		集中		副	
環境社会調査実習	2・3後		2				1				隔年	副	この中から2単位を選択		
環境社会調査演習	2前		2				1				副				
地域環境マネジメント実践演習	2後		2				1				副				
プログラム展開科目	保全生物学	3・4前		2			1						隔年	副	昇任により職位変更(29)
	景観生態学	3・4後		2			1						隔年	副	
	環境経済論特講	3前		2			1	+						副	
	環境文化論特講	3前		2			1							副	
	環境社会学特講	3・4前		2				1						副	
	環境思想史	3・4前		2				1						副	
	環境倫理学	3・4前		2				1						副	選択必修科目に環境倫理学を追加することにより、専修プログラムとしての専門性を高めるだけでなく、地域及びグローバル双方に関わる政策への実践的コメントが可能となるため(29)
	国際法A	3・4前		2							兼1	集中	隔年	副	旧カリキュラム、他プログラムと開講時期をあわせる(29)
	国際法B	3・4前 3・4後		2							兼1	集中	隔年	副	
	企業論	3・4前		2							兼1	集中	隔年	副	
	地方財政論	3・4前		2				1						副	
	環境学特講A	3・4前		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境学特講B	3・4後		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境学特講C	3・4前		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境学特講D	3・4後		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境科学特講A	3・4前		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境科学特講B	3・4後		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境科学特講C	3・4後		2							兼1	集中	隔年	副	
	環境政策論演習Ⅰ	3前		2				1						副	昇任により職位変更(29)
	環境政策論演習Ⅱ	3後		2				1						副	
環境経済論演習Ⅰ	3前		2				1	+					副		
環境経済論演習Ⅱ	3後		2				1	+					副		

環境文化論演習 I	3前	2	1						
環境文化論演習 II	3後	2	1						
環境社会学演習 I	3前	2		1					
環境社会学演習 II	3後	2		1					
自然環境学演習 I	3前	2		1					
自然環境学演習 II	3後	2		2					
環境生態学演習 I	3前	2	1						
環境生態学演習 II	3後	2	1						
政治学演習 I	3前	2	1						
政治学演習 II	3後	2	1						
憲法演習 I	3前	2		1					
憲法演習 II	3後	2		1					
民法（財産法）演習 I	3前	2	1	1					
民法（財産法）演習 II	3後	2	1	1					
民法（家族法）演習 I	3前	2	1						
民法（家族法）演習 II	3後	2	1						
商法演習 I	3前	2		1					
商法演習 II	3後	2		1					
刑法演習 I	3前	2	1						
刑法演習 II	3後	2	1						
刑事訴訟法演習 I	3前	2		1					
刑事訴訟法演習 II	3後	2		1					
労働法演習 I	3前	2		1					
労働法演習 II	3後	2		1					
理論経済学演習 I	3前	2		1					
理論経済学演習 II	3後	2		1					
政治経済学演習 I	3前	2		1					
政治経済学演習 II	3後	2		1					
財政学演習 I	3前	2		1					
財政学演習 II	3後	2		1					
農業経済論演習 I	3前	2	1						
農業経済論演習 II	3後	2	1						
国際経済論演習 I	3前	2	1						
国際経済論演習 II	3後	2	1						
経営学演習 I	3前	2	1						
経営学演習 II	3後	2	1						
会計学演習 I	3前	2							
会計学演習 II	3後	2							

兼1
兼1
兼1
兼1

この中から同名の I と II の 4 単位を選択

誤記入のため修正(29)
誤記入のため修正(29)
理事担当。最終年度は専任となる予定のため修正(29)
理事担当。最終年度は専任となる予定のため修正(29)

兼1
兼1

誤記入のため修正(29)
誤記入のため修正(29)

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	604	1	618	13	608	1	622	
				[]	[4]	[]	[4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 **【該当なし】**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 **【該当なし】**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の書

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{618} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	敷地の売却(29)			
	校舎敷地	280,802 m ² 282,481 m²	0 m ²	0 m ²	280,802 m ² 282,481 m²				
	運動場用地	61,037 m ²	0 m ²	0 m ²	61,037 m ²				
	小 計	341,839 m ² 343,518 m²	0 m ²	0 m ²	341,839 m ² 343,518 m²				
	そ の 他	74,213 m ²	0 m ²	0 m ²	74,213 m ²				
	合 計	416,052 m ² 417,731 m²	0 m ²	0 m ²	416,052 m ² 417,731 m²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		141,583 m ² (141,583 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	141,583 m ² (141,583 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 96 室	演 習 室 51 室	実験実習室 362 室	情報処理学習施設 12 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		学部全体			
		人文社会科学部人間文化課程		67 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体での数 予算状況（運営費交付金の状況）等の変更による(29)	
	人文社会科学部人間文化課程	909,997 [199,025] 872,148 [195,791] (872,148 [195,791])	11,525 [2,204] 11,213 [2,153] (11,213 [2,153])	6,340 [5,767] 6,413 [5,841] (6,413 [5,841])	4,743 3,744 (3,744)	87 82 (82)	0 (0)		
	計	909,997 [199,025] 872,148 [195,791] (872,148 [195,791])	11,525 [2,204] 11,213 [2,153] (11,213 [2,153])	6,340 [5,767] 6,413 [5,841] (6,413 [5,841])	4,743 3,744 (3,744)	87 82 (82)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		9,089 m ²	671	677,122	大学全体				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		6,357 m ²	野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか	大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による
		教員1人当たり研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次 - 千円	第2年次 - 千円	第3年次 - 千円	第4年次 - 千円	第5年次 - 千円	第6年次 - 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			-						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	250	学士（総合科学）	1.04	平成28年度		
地域政策課程	4	75	4	150	学士（総合科学）	1.06	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士（教育）	1.07	平成12年度		
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（生涯教育）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士（芸術文化）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	180	学士（理工学）	1.05	平成28年度		
物理・材料理工学科	4	80	2	160	学士（理工学）	1.02	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	540	学士（工学）	1.02	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.08	平成28年度		
応用生物化学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.02	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	60	学士（農学）	1.08	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	120	学士（農学）	1.06	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	60	学士（農学）	1.01	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.08	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
総合科学研究科（修士課程）								岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
地域創生専攻	2	54	—	54	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.18	平成29年度		
総合文化学専攻	2	10	—	10	修士（学術）	0.70	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	—	180	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.88	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	—	50	修士（農学）	1.08	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	

人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	平成29年より学生募集停止
人間科学専攻	2	-	-	16	修士（学術）	-	平成16年度		同上	平成29年より学生募集停止
国際文化学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度		同上	平成29年より学生募集停止
社会・環境システム学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度		同上	平成29年より学生募集停止
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.09	平成28年度			
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	平成28年より学生募集停止
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成21年度		同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成7年度		同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成29年より学生募集停止
応用化学・生命工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
フロンティア材料機能工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	2	-	-	-	修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度		同上	平成29年より学生募集停止
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	平成29年より学生募集停止
農学生命専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
応用生物化学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
動物科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
バイオフロンティア専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度		同上	平成29年より学生募集停止
工学研究科（博士後期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	-	27	博士（工学）	0.29	平成21年度		同上	
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.16	平成21年度		同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.50	平成21年度		同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度		同上	
連合農学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物生産科学専攻	3	8	-	24	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度		同上	
生物資源科学専攻	3	10	-	30	博士（農学又は学術）	0.90	平成2年度		同上	
寒帯圏生命システム学専攻	3	6	-	18	博士（農学又は学術）	0.66	平成18年度		同上	
生物環境科学専攻	3	8	-	18	博士（農学又は学術）	0.91	平成2年度		同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会科学部 地域政策課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
専	教授	内田浩(54)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 刑法各論I 刑法各論II 刑法総論I 刑法総論II 刑法演習I 刑法演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 憲法 現代社会をみる視角	専	教授	内田浩(55)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 刑法各論I 刑法各論II 刑法総論I 刑法総論II 刑法演習I 刑法演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 憲法 現代社会をみる視角	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)
専	教授	松岡勝実(53)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(債権各論)I 民法(債権各論)II 民法(債権総論)I 民法(債権総論)II 地域政策実践演習A 民法(財産法)演習I 民法(財産法)演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 市民生活と法	専	教授	松岡勝実(54)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(債権各論)I 民法(債権各論)II 民法(債権総論)I 民法(債権総論)II 地域政策実践演習A 民法(財産法)演習I 民法(財産法)演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 基礎ゼミナール 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
専	教授	宮本ともみ(55)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(家族法)I 民法(家族法)II 民法(相続法) 民法(家族法)演習I 民法(家族法)演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 市民生活と法	専	教授	宮本ともみ(56)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(家族法)I 民法(家族法)II 民法(相続法) 民法(家族法)演習I 民法(家族法)演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
専	教授	横山英信(53)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 経済学基礎I 日本経済史 地域経済実践演習 地域経済調査演習 農業経済論I 農業経済論II 協同組合論 農業経済論演習I 農業経済論演習II 経済外書講読 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 現代社会と経済 岩手の研究					地域政策入門A 地域政策入門B 経済学基礎I 日本経済史 地域経済実践演習 地域経済調査演習 農業経済論I 農業経済論II 協同組合論 農業経済論演習I 農業経済論演習II 経済外書講読 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 現代社会と経済 岩手の研究	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除(29)
専	教授	竹原明秀(57)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境科学演習 環境科学実験 持続可能な社会論 景観生態学 保全生物学 環境生態学A 環境生態学B 環境生態学演習I 環境生態学演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 生命のしくみ 地域の環境保全を考える	専	教授	竹原明秀(58)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境科学演習 環境科学実験 持続可能な社会論 景観生態学 保全生物学 環境生態学A 環境生態学B 環境生態学演習I 環境生態学演習II 総合科学論I 総合科学論II 特別研究 生命のしくみ 地域の環境保全を考える	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	開龍美(61)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境文化論 I 環境文化論 II 環境思想史 環境科学演習 持続可能な社会論 環境文化論演習 I 環境文化論演習 II 環境文化論特講 環境倫理学 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 哲学の世界	専	教授	開龍美(62)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境文化論 I 環境文化論 II 環境思想史 環境科学演習 持続可能な社会論 環境文化論演習 I 環境文化論演習 II 環境文化論特講 環境倫理学 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 哲学の世界 環境を考える	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)
専	教授	菊池孝美(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	専	教授	菊池孝美(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年3月定年退職。
専	教授	選考予定 (菊池孝美後任)	平成29年4月	西洋経済史 国際経済論A 国際経済論B 国際経済論演習 I 国際経済論演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究			後任未定			平成29年4月 教員未定。「西洋経済史」「国際経済論A」「国際経済論B」は兼任講師が担当する。(29)
兼任	講師	菊池孝美(65)	平成29年4月	現代社会と経済	兼任	講師	菊池孝美(65)	平成29年4月	現代社会と経済 西洋経済史 国際経済論A 国際経済論B	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29) 教員未定のため「西洋経済史」「国際経済論A」「国際経済論B」は兼任講師が担当する。(29)
専	教授	田口典男(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	専	教授	田口典男(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」「地域政策入門B」削除。(28)
専	教授	選考予定 (田口典男後任)	平成29年4月	経営学総論 I 経営学総論 II 地域経済実践演習 地域経済調査演習 経営学演習 I 経営学演習 II 人的資源管理論 経済外書講読 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究			後任未定			平成29年4月 教員未定。「地域経済実践演習」「地域経済調査演習」「経済外書講読」は他に担当者が複数名いるため支障はない。「経営学総論 I」「経営学総論 II」は兼任教員が担当する。(29)
兼任	講師	田口典男(65)	平成29年4月	現代社会と経済	兼任	講師	田口典男(65)	平成29年4月	現代社会と経済	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	准教授	笹尾俊明(42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境経済論 I 環境科学演習 環境経済論 II 持続可能な社会論 環境経済論演習 I 環境経済論演習 II 環境経済論特講 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 経済のしくみ 環境マネジメントと岩手大学	専	教授	笹尾俊明(43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境経済論 I 環境科学演習 環境経済論 II 持続可能な社会論 環境経済論演習 I 環境経済論演習 II 環境経済論特講 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 経済のしくみ 環境マネジメントと岩手大学	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
専	准教授	江原勝行(44)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 憲法(人権) I 憲法(人権) II 憲法(統治機構) I 憲法(統治機構) II 憲法演習 I 憲法演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 憲法	専	准教授	江原勝行(45)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 憲法(人権) I 憲法(人権) II 憲法(統治機構) I 憲法(統治機構) II 憲法演習 I 憲法演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 憲法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	准教授	河合壘 (40)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 雇用管理法 社会保障法 労働法 I 労働法 II 労働法演習 I 労働法演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 憲法 現代の諸問題						
専	准教授	西牧正義 (49)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(総則) I 民法(総則) II 民法(物権) I 民法(物権) II 民法(財産法)演習 I 民法(財産法)演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 市民生活と法	専	准教授	西牧正義 (50)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(総則) I 民法(総則) II 民法(物権) I 民法(物権) II 民法(財産法)演習 I 民法(財産法)演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 基礎ゼミナール 市民生活と法 現代社会をみる視角	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)
専	准教授	深澤泰弘 (39)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 会社法 I 会社法 II 商法(商取引法) 商法(総則) 商法演習 I 商法演習 II 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 市民生活と法	専	准教授	深澤泰弘 (40)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 会社法 I 会社法 II 商法(商取引法) 商法(総則) 商法演習 I 商法演習 II 金融法 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 基礎ゼミナール 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 「金融法」追加。(29)
専	准教授	藤本幸二 (42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 基礎法A 基礎法B 刑事政策 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 II 刑事訴訟法演習 I 刑事訴訟法演習 II 地域政策実践演習B 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 基礎ゼミナール 憲法 知的財産入門 知財ワークショップ 公共社会	専	准教授	藤本幸二 (43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 基礎法A 基礎法B 刑事政策 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 II 刑事訴訟法演習 I 刑事訴訟法演習 II 地域政策実践演習B 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 法律学特講A 法律学特講B 法律学特講C 法律学特講D 法律学特講E 法律学特講F 基礎ゼミナール 憲法 知的財産入門 知財ワークショップ 公共社会	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)
専	准教授	杭田俊之 (50)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 経済学基礎 II 地域経済実践演習 地域経済調査演習 理論経済学 I 理論経済学 II 応用マクロ経済学 理論経済学演習 I 理論経済学演習 II 経済外書講読 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 経済のしくみ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
専	准教授	齊藤彰一(46)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ 地域経済実践演習 地域経済調査演習 政治経済学演習Ⅰ 政治経済学演習Ⅱ 経済思想 経済外書講読 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 経済のしくみ	専	准教授	齊藤彰一(47)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ 地域経済実践演習 地域経済調査演習 政治経済学演習Ⅰ 政治経済学演習Ⅱ 経済思想 経済外書講読 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 経済のしくみ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
専	准教授	塚本善弘(47)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 国際開発と環境・貧困 環境科学演習 環境社会学Ⅰ 環境社会学Ⅱ 環境社会学調査演習 環境社会学調査実習 環境社会学演習Ⅰ 環境社会学演習Ⅱ 環境社会学特講 持続可能な社会論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 現代社会の社会学	専	准教授	塚本善弘(48)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 国際開発と環境・貧困 環境科学演習 環境社会学Ⅰ 環境社会学Ⅱ 環境社会学調査演習 環境社会学調査実習 環境社会学演習Ⅰ 環境社会学演習Ⅱ 環境社会学特講 持続可能な社会論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 現代社会の社会学 社会的人間論	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「持続可能な社会論」削除。(29)
専	准教授	寺崎正紀(43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境科学演習 環境科学実験 自然環境学A 自然環境学B 自然環境学演習Ⅰ 自然環境学演習Ⅱ 持続可能な社会論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 物質の世界	専	准教授	寺崎正紀(44)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境科学演習 環境科学実験 自然環境学A 自然環境学B 自然環境学演習Ⅰ 自然環境学演習Ⅱ 持続可能な社会論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 物質の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「持続可能な社会論」削除。(29)
専	准教授	中島清隆(41)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境政策論Ⅰ 環境政策論Ⅱ 環境科学演習 持続可能な社会論 地域環境マネジメント実践演習 環境政策論演習Ⅰ 環境政策論演習Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 持続可能なコミュニティづくり実践学 地元の企業に学ぶESD 環境マネジメント実践学	専	准教授	中島清隆(42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境政策論Ⅰ 環境政策論Ⅱ 環境科学演習 持続可能な社会論 地域環境マネジメント実践演習 環境政策論演習Ⅰ 環境政策論演習Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 持続可能なコミュニティづくり実践学 地元の企業に学ぶESD 環境マネジメント実践学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
専	准教授	選考予定	平成29年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地域経済実践演習 地域経済調査演習 財政学演習Ⅰ 財政学演習Ⅱ 経済外書講読 地方財政論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究			選考予定		地域政策入門A 地域政策入門B 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地域経済実践演習 地域経済調査演習 財政学演習Ⅰ 財政学演習Ⅱ 経済外書講読 地方財政論 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 教員未定。「財政学Ⅰ」は就任後に開講。「地域経済実践演習」は他に担当者が複数名いるため支障はない。(29)
兼任	理事・教授	丸山 仁(52)	平成28年4月	地域政策入門A 政治学演習Ⅰ 政治学演習Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ						
専	教授	丸山 仁(55)	平成31年4月	地域政策入門A 政治学演習Ⅰ 政治学演習Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究						

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	
兼任	教授	遠藤教昭(58)	平成28年4月	兼任	教授	遠藤教昭(59)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	教授	北村一親(57)	平成28年4月	兼任	教授	北村一親(58)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	白倉孝行(58)	平成28年4月	兼任	教授	白倉孝行(59)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	教授	浅沼道成(57)	平成28年4月	兼任	教授	浅沼道成(58)	平成28年4月	「平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	教授	織田信男(52)	平成28年4月	兼任	教授	織田信男(53)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	高橋宏一(61)	平成28年4月	兼任	教授	高橋宏一(62)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	竹村祥子(57)	平成28年4月	兼任	教授	竹村祥子(58)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	松岡和生(58)	平成28年4月	兼任	教授	松岡和生(59)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	教授	山口浩(61)	平成28年4月	兼任	教授	山口浩(62)	平成28年4月	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)
兼任	教授	池田成一(62)	平成28年4月	兼任	教授	池田成一(63)	平成28年4月	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	講師	池田成一(65)	平成31年4月					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	後藤尚人(57)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級フランス語(発展) ボランティアとリーダーシップ 危機管理と復興 フランス語基礎 現代文化論	兼任	教授	後藤尚人(58)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級フランス語(発展) ボランティアとリーダーシップ 危機管理と復興 フランス語基礎 現代文化論	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	教授	山本昭彦(59)	平成28年4月	人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 宮沢賢治の世界	兼任	教授	山本昭彦(61)	平成28年4月	人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 宮沢賢治の世界 欧米の文学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	家井美千子(59)	平成28年4月	アジア圏文化論 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 日本語表現基礎 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語)	兼任	教授	家井美千子(60)	平成28年4月	アジア圏文化論 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 日本語表現基礎 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「日本語読解基礎」を削除。(29)
兼任	教授	中村安宏(54)	平成28年4月	アジア圏文化論 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 日本の思想と文化	兼任	教授	中村安宏(55)	平成28年4月	アジア圏文化論 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 日本の思想と文化	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	教授	樋口知志(56)	平成28年4月	アジア圏文化論 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 日本の歴史と文化 東北の歴史	兼任	教授	樋口知志(57)	平成28年4月	アジア圏文化論 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 日本の歴史と文化 東北の歴史	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	齋藤伸治(54)	平成28年4月	英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 欧米の言語論	兼任	教授	齋藤伸治(55)	平成28年4月	英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 欧米の言語論 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	齋藤博次(61)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 課題解決型国際研修(ドイツ語) 課題解決型国際研修(フランス語) 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展C 英語発展D 英語発展F 欧米の文学	兼任	教授	齋藤博次(63)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 課題解決型国際研修(ドイツ語) 課題解決型国際研修(フランス語) 課題解決型国際研修(中国語) 日本語読解基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展C 英語発展D 英語発展F 欧米の文学 英語総合Ⅰ(初級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」「課題解決型国際研修(フランス語)」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「日本語表現基礎」追加。 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)
兼任	教授	松林城弘(57)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展E 英語発展G 英語発展H	兼任	教授	松林城弘(58)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展E 英語発展G 英語発展H	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	横井雅明(55)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	兼任	教授	横井雅明(56)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(フランス語)」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	大友展也(55)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 ドイツ語基礎 ドイツ語コミュニケーション基礎 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	兼任	教授	大友展也(56)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 ドイツ語基礎 ドイツ語コミュニケーション基礎 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」「ドイツ語コミュニケーション基礎」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」を削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)
兼任	教授	阿部裕之(57)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 工芸基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	阿部裕之(58)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 工芸基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	木村直弘(54)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 現代文化論 芸術文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 芸術の世界	兼任	教授	木村直弘(55)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 現代文化論 芸術文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 芸術の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)
兼任	教授	栗林徹(58)	平成28年4月	スポーツ科学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	栗林徹(59)	平成28年4月	スポーツ科学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容の見直しにより「人間文化入門」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	教授	田中隆充(47)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	田中隆充(48)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	教授	玉澤友基(60)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	玉澤友基(61)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	教授	本村健太(48)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎A 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	本村健太(49)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎A 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	准教授	五味壮平(48)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	教授	五味壮平(48)	平成28年4月	人間行動論 現代文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 情報基礎 三陸の研究 初年次自由ゼミナール	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「現代文化論」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	准教授	音喜多信博(49)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 哲学の世界	兼任	准教授	音喜多信博(50)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 哲学の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	准教授	奥野雅子(56)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 心の理解	兼任	准教授	奥野雅子(57)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 心の理解	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	准教授	小野澤章子(48)	平成28年4月	社会調査法 人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 社会的人間論 現代社会の社会学	兼任	准教授	小野澤章子(49)	平成28年4月	社会調査法 人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 社会的人間論 社会的人間論 現代社会の社会学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	准教授	鈴木 謹(46)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 対人関係の心理学	兼任	准教授	鈴木 謹(47)	平成28年4月	人間行動論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 対人関係の心理学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	准教授	海妻径子(47)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 日本語表現基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ ジェンダーの歴史と文化 女性と科学の関係史	兼任	准教授	海妻径子(48)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 日本語表現基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ ジェンダーの歴史と文化 女性と科学の関係史	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	准教授	梁仁實(44)	平成28年4月	韓国語基礎 異文化間コミュニティ論 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語	兼任	准教授	梁仁實(45)	平成28年4月	韓国語基礎 異文化間コミュニティ論 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」削除。(28)
兼任	准教授	選考中	平成28年4月	アジア圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	准教授	麻田雅文(36)	平成28年4月	アジア圏文化論 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級ロシア語(入門) 初級ロシア語(発展)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 「歴史学概論」を追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	准教授	西田文信(43)	平成28年4月	中国語基礎 課題解決型国際研修(中国) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中国の文学			後任未定		中国語基礎 課題解決型国際研修(中国) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中国の文学	平成29年3月 西田文信准教授辞任。(29) 「後任未定」平成29年10月から専任教員採用予定。 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年3月 西田文信准教授辞任のため科目削除。(29)
兼任	准教授	小島聡子(47)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 言葉の世界	兼任	准教授	小島聡子(48)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 言葉の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28)
兼任	准教授	シュヴァムホルン、フランク(56)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	兼任	教授	シュヴァムホルン、フランク(57)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ語コミュニケーション基礎 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」削除。「ドイツ語コミュニケーション基礎」を追加(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「国際交流研修」追加。(29)
兼任	准教授	梶(福家)さやか(38)	平成28年4月	歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 欧米の歴史と文化	兼任	准教授	梶(福家)さやか(39)	平成28年4月	歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 欧米の歴史と文化	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除。(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	准教授	川村和宏(39)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	兼任	准教授	川村和宏(40)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 欧米の文学 基礎ゼミナール 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	准教授	グラアレクサトル(41)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	兼任	准教授	グラアレクサトル(42)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」削除。(28)
兼任	准教授	小林葉子(45)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級)	兼任	准教授	小林葉子(46)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「国際交流研修」追加。(29)
兼任	准教授	中里まき子(40)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	兼任	准教授	中里まき子(41)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ語圏文化論 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(フランス語)」削除。(28)
兼任	准教授	橋本学(54)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) コミュニケーションの現在	兼任	准教授	橋本学(55)	平成28年4月	英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) コミュニケーションの現在	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28)
兼任	准教授	堀口大樹(31)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 中級ロシア語	兼任	准教授	堀口大樹(32)	平成28年4月	ヨーロッパ語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 中級ロシア語 初級ロシア語(入門)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	准教授	平田光彦(42)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	准教授	平田光彦(43)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
兼任	准教授	選考中	平成28年4月	課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	准教授	スマイリジム(48)	平成28年4月	課題解決型国際研修(英語) 英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28) 平成29年4月 「英語圏文化論」追加。 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	准教授	選考中	平成28年4月	スポーツ科学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	兼任	准教授	長谷川弓子(41)	平成28年4月	スポーツ科学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	講師	秋田淳子(50)	平成28年4月	英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展A 英語発展B	兼任	講師	秋田淳子(51)	平成28年4月	英語圏文化論 日本語読解基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展A 英語発展B 英語発展C 英語発展D 宮沢賢治の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「日本語読解基礎」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	尾臺喜孝(57)	平成28年4月	環境統計学Ⅱ 経済数学(線形代数学) 数理のひろがり						
兼任	准教授	川崎秀二(49)	平成28年4月	環境統計学Ⅰ 自然と数理						
兼任	准教授	奈良光紀(42)	平成28年4月	経済数学(微積分学)						
兼任	教授	西崎 滋(61)	平成28年4月	自然と数理 環境科学特講A 環境科学特講C 宇宙のしくみ 地球環境と社会						
兼任	講師	北爪 英一(67)	平成30年4月	環境科学特講B 自然環境学演習Ⅰ 自然環境学演習Ⅱ	兼任	講師	北爪 英一(65)	平成28年4月	環境科学特講B 自然環境学演習Ⅰ 自然環境学演習Ⅱ 自然のしくみ	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目 に関してクラス編成の変更を行ったため科目 目を追加(28)
兼任	講師	中村逸春(40)	平成29年4月	政治学(政治過程) 政治学(政治理論)						
兼任	講師	高野 修(70)	平成29年4月	行政法(救済法)Ⅰ 行政法(救済法)Ⅱ 行政法(作用法総論)Ⅰ 行政法(作用法総論)Ⅱ						
兼任	講師	和泉田保一(50)	平成29年4月	地方自治法						
兼任	講師	茅根由佳(30)	平成30年4月	国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ						
兼任	講師	津田雅也(38)	平成30年4月	少年法						
兼任	講師	須山通治(60)	平成29年4月	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ						
兼任	講師	選考予定	平成29年4月	金融法	兼任	講師	選考予定	平成29年4月	金融法	平成29年4月 担当者変更のため削除。(29)
兼任	講師	瀧 麻衣子(43)	平成31年4月	知的財産法						
兼任	講師	小沼史彦(48)	平成29年4月	国際法A 国際法B						
兼任	講師	斎藤千加子(53)	平成30年4月	法律学特講A						
兼任	講師	周 園(36)	平成30年4月	法律学特講B						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	行政学Ⅰ 行政学Ⅱ						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	法律学特講C						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	法律学特講D						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	法律学特講E						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	法律学特講F						
兼任	講師	鴨池 治(71)	平成29年4月	金融論						
兼任	講師	宮井 久男(67)	平成29年4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 会計学演習Ⅰ 会計学演習Ⅱ 公会計論						
兼任	講師	松田 淳(56)	平成29年4月	企業論						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	労働経済論						
兼任	講師	濱田武士(49)	平成30年4月	日本経済論						
兼任	講師	伊藤健宏(43)	平成29年4月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ						
兼任	講師	小野晃典(45)	平成30年4月	マーケティング論						
兼任	講師	青木雅明(59)	平成30年4月	管理会計論						
兼任	講師	小井田伸雄(44)	平成29年4月	ミクロ経済学						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	環境学特講A						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	環境学特講B						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	環境学特講C						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	環境学特講D						
					兼任	講師	植田真弘(65)	平成29年4月	経営学総論Ⅰ 経営学総論Ⅱ	平成29年4月から 教員未定のため追加。(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
兼任	教授	アヅヒロミ 阿久津 洋巳 (63)	平成28年4月	心の理解	兼任	教授	アヅヒロミ 阿久津 洋巳 (64)	平成28年4月	心の理解	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	アヅヒロミ 阿久津 洋巳 (65)	平成30年4月	心の理解	兼任	講師	アヅヒロミ 阿久津 洋巳 (65)	平成30年4月	心の理解	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	アヅマ ノリアキ 我妻 則明 (64)	平成28年4月	心の理解 心と表象	兼任	教授	アヅマ ノリアキ 我妻 則明 (65)	平成28年4月	心の理解 心と表象	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	アヅマ ノリアキ 我妻 則明 (65)	平成29年4月	心の理解 心と表象	兼任	講師	アヅマ ノリアキ 我妻 則明 (66)	平成29年4月	心の理解 心と表象	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ウサミコウセイ 宇佐美 公生 (59)	平成28年4月	倫理学の世界						
兼任	教授	エトウ マサトシ 遠藤 匡俊 (61)	平成28年4月	地域と生活						
兼任	教授	オノ マキオ 大野 真男 (61)	平成28年4月	上級日本語H 言葉の世界	兼任	教授	オノ マキオ 大野 真男 (62)	平成28年4月	上級日本語H 言葉の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	カマダ ヤスヒサ 鎌田 安久 (58)	平成28年4月	健康・スポーツA	兼任	教授	カマダ ヤスヒサ 鎌田 安久 (58)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	教授	カワダ コウイチ 川田 浩一 (50)	平成28年4月	数理のひろがり	兼任	教授	カワダ コウイチ 川田 浩一 (50)	平成28年4月	数理のひろがり	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	カンノ フミオ 菅野 文夫 (60)	平成28年4月	アジアの思想と文化 日本の歴史と文化 アジアの歴史と文化	兼任	教授	カンノ フミオ 菅野 文夫 (61)	平成28年4月	アジアの思想と文化 日本の歴史と文化 アジアの歴史と文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	キクチ サトル 菊地 悟 (58)	平成28年4月	上級日本語D						
兼任	教授	シズメ シゲユキ 清水 茂幸 (54)	平成28年4月	健康・スポーツB 健康・スポーツC(シーズン)	兼任	教授	シズメ シゲユキ 清水 茂幸 (54)	平成28年4月	健康・スポーツB 健康・スポーツC(シーズン)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	タイキ カアキ 武井 隆明 (63)	平成28年4月	自然のしくみ 図書館への招待	兼任	教授	タイキ カアキ 武井 隆明 (63)	平成28年4月	自然のしくみ 図書館への招待	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	タイキ カアキ 武井 隆明 (65)	平成30年4月	自然のしくみ 図書館への招待	兼任	講師	タイキ カアキ 武井 隆明 (65)	平成30年4月	自然のしくみ 図書館への招待	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (64)	平成28年4月	地域と社会 自然災害と社会	兼任	教授	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成28年4月	地域と社会 自然災害と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成29年4月	地域と社会 自然災害と社会	兼任	講師	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成29年4月	地域と社会 自然災害と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ナコンドシュキ 名越 利幸 (60)	平成28年4月	三陸の研究	兼任	教授	ナコンドシュキ 名越 利幸 (60)	平成28年4月	三陸の研究	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ムギクラ テツ 妻倉 哲 (60)	平成28年4月	社会的人間論 現代社会の社会学	兼任	教授	ムギクラ テツ 妻倉 哲 (61)	平成28年4月	社会的人間論 現代社会の社会学	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ヤブ トシヒロ 藪 敏裕 (58)	平成28年4月	上級日本語G 地域課題演習D	兼任	教授	ヤブ トシヒロ 藪 敏裕 (59)	平成28年4月	上級日本語G 地域課題演習D	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	キクチ ヒロシ 菊地 洋 (44)	平成28年4月	憲法						
兼任	准教授	サワムラ ショウイチ 澤村 省逸 (52)	平成28年4月	健康・スポーツC(シーズン)	兼任	准教授	サワムラ ショウイチ 澤村 省逸 (53)	平成28年4月	健康・スポーツC(シーズン) 健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	准教授	シズメ ショウ 清水 将 (49)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツB	兼任	准教授	シズメ ショウ 清水 将 (49)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	スズマコ コウジ 煤孫 康二 (64)	平成28年4月	芸術の世界	兼任	准教授	スズマコ コウジ 煤孫 康二 (65)	平成28年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	講師	ススマコ ヨウジ 煤孫 康二 (65)	平成29年4月	芸術の世界	兼任	講師	ススマコ ヨウジ 煤孫 康二 (65)	平成29年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	ツチャアキヒロ 土屋 明広 (41)	平成28年4月	現代社会の社会学	兼任	准教授	ツチャアキヒロ 土屋 明広 (41)	平成28年4月	現代社会の社会学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	ホールジューズ メリウエザー HALL JAMES MERIWETHER (41)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級)	兼任	准教授	ホールジューズ メリウエザー HALL JAMES MERIWETHER (41)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	ホンダ タシ 本田 卓 (44)	平成28年4月	自然と数理の世界	兼任	准教授	ホンダ タシ 本田 卓 (45)	平成28年4月	数理のひろがり 自然と数理の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	准教授	ミツイ タカヒロ 三井 隆弘 (45)	平成28年4月	社会的人間論						
兼任	准教授	ヤスイ モユル 安井 もゆる (52)	平成28年4月	欧米の歴史と文化	兼任	准教授	ヤスイ モユル 安井 もゆる (53)	平成28年4月	欧米の歴史と文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
					兼任	教授	オンケリ ケンイチ 押切 源一 (62)	平成28年4月	数理のひろがり	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	カンワラ ショウゴ 梶原 昌五 (58)	平成28年4月	動物と環境	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	イヅツカ ヒロコ 犬塚 博彦 (55)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	カハマ タツヤ 上清 龍也 (62)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツC	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	ヤマザキ トモコ 山崎 友子 (64)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	ヨシイ ヨウジ 吉井 洋二 (58)	平成28年4月	自然と数理	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	シバ ヨウコ 芝 陽子 (41)	平成28年5月	初年次自由ゼミナール	平成29年4月 新規採用教員に担当科目を追加 平成29年2月 AC教員審査済
兼任	教授	ナリタ シンヤ 成田 晋也 (47)	平成28年4月	科学技術						
兼任	准教授	イシガキ ツヨシ 石垣 剛 (45)	平成28年4月	宇宙のしくみ						
兼任	教授	ハナミ ヒロシ 花見 仁史 (57)	平成28年4月	自然のしくみ						
兼任	教授	ヨシザワ マサヒト 吉澤 正人 (63)	平成28年4月	物質の世界						
兼任	講師	ヨシザワ マサヒト 吉澤 正人 (65)	平成30年4月	物質の世界						
兼任	教授	ウミタ テルユキ 海田 輝之 (63)	平成28年4月	都市と環境						
兼任	講師	ウミタ テルユキ 海田 輝之 (65)	平成30年4月	都市と環境						
兼任	教授	ナカザワ ヒロシ 中澤 廣 (63)	平成28年4月	廃棄物と環境						
兼任	講師	ナカザワ ヒロシ 中澤 廣 (65)	平成30年4月	廃棄物と環境						
兼任	准教授	オノノ ヒロキ 小野寺 英輝 (54)	平成28年4月	岩手大学ミュージアム学 科学・技術と現代社会						
兼任	准教授	ヤマモト ヒロカズ 山本 英和 (49)	平成28年4月	くらしと科学技術						
兼任	教授	テト ヒデアキ 出戸 秀明 (64)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	講師	テト ヒデアキ 出戸 秀明 (65)	平成29年4月	情報基礎						
兼任	准教授	ヤマグチ アキラ 山口 明 (51)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	ミヨシ タスク 三好 扶 (43)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	タイホウ マサヒロ 大坊 真洋 (50)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	タツザワ ツミ 立澤 文見 (48)	平成28年4月	植物栽培と環境テクノロジー						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	カインゲンオ河合 成直(59)	平成28年4月	水と環境	兼任	教授	カインゲンオ河合 成直(59)	平成28年4月	水と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ニヤマケンイチ西山 賢一(50)	平成28年4月	生命のしくみ	兼任	教授	ニヤマケンイチ西山 賢一(50)	平成28年4月	生命のしくみ	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
					兼任	准教授	ツカモト ナケン塚本 知玄(58)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	タテシタカヒロ立石 貴浩(55)	平成28年4月	生命のしくみ	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	講師	マツキ(サトウ)サワコ松木(佐藤)佐和子(40)	平成28年4月	「環境」を考える	兼任	講師	マツキ(サトウ)サワコ松木(佐藤)佐和子(40)	平成28年4月	「環境」を考える	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
					兼任	准教授	イトウ サチオ伊藤 幸男(46)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	セキノノボル関野 登(57)	平成28年4月	森林と環境	教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ヤマモト キヨタ山本 清龍(44)	平成28年4月	「環境」を考える	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	教授	ヒロタ ジュンイチ廣田 純一(61)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	ヒロタ ジュンイチ廣田 純一(62)	平成28年4月	地域課題演習C 地域課題演習H 初年次自由ゼミナール 現代の諸問題	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	キジタ ユキオ木下 幸雄(46)	平成28年4月	水と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ハマミキニコ濱上 邦彦(35)	平成28年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	タナカ リュウキ田中 教幸(63)	平成28年4月	地域課題演習H	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	教授	サノヒロアキ佐野 宏明(61)	平成28年4月	動物と環境 環境の科学	兼任	教授	サノヒロアキ佐野 宏明(61)	平成28年4月	動物と環境 環境の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	准教授	オダ シンイチ小田 伸一(58)	平成28年4月	人の暮らしと生物環境						
兼任	准教授	マツハラ カスエイ松原 和衛(59)	平成28年4月	生命のしくみ						
兼任	教授	ツイキ ミチル築城 幹典(57)	平成28年4月	情報基礎	兼任	教授	ツイキ ミチル築城 幹典(58)	平成28年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ゴリョウ マサノブ御領 政信(63)	平成28年4月	生命のしくみ 自然の科学	兼任	教授	ゴリョウ マサノブ御領 政信(63)	平成28年4月	生命のしくみ 自然の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ゴリョウ マサノブ御領 政信(65)	平成30年4月	生命のしくみ 自然の科学	兼任	講師	ゴリョウ マサノブ御領 政信(65)	平成30年4月	生命のしくみ 自然の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
					兼任	教授	キザキ ケイイチロウ木崎 景一郎(50)	平成28年4月	動物と環境	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	教授	サワグチ イサオ澤口 勇雄(63)	平成28年4月	森林と環境	兼任	教授	サワグチ イサオ澤口 勇雄(63)	平成28年4月	森林と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	サワグチ イサオ澤口 勇雄(65)	平成30年4月	森林と環境	兼任	講師	サワグチ イサオ澤口 勇雄(65)	平成30年4月	森林と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
					兼任	教授	サトウ イタル佐藤 至(54)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	教授	ワキノ ヒロシ脇野 博(61)	平成28年4月	科学と技術の歴史 地域課題演習A 地域課題演習B 地域課題演習C 地域課題演習H	兼任	教授	ワキノ ヒロシ脇野 博(62)	平成28年4月	科学と技術の歴史 地域課題演習A 地域課題演習B 地域課題演習C 地域課題演習H 図書館への招待 キャリアを考える 現代の諸問題 地域を考える	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	教授	スカワラ エツコ菅原 悦子(62)	平成28年4月	生活と環境	兼任	教授	スカワラ エツコ菅原 悦子(62)	平成28年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)		就任年月日	担当授業科目名
兼任	講師	スカワラ エツコ 菅原 悦子 (65)	平成31年4月	生活と環境	兼任	講師	スカワラ エツコ 菅原 悦子 (65)	平成31年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	ヒヤネ アキラ 比屋根 哲 (58)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	ヒヤネ アキラ 比屋根 哲 (58)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	タツミ マサノブ 立身 政信 (64)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	タツミ マサノブ 立身 政信 (64)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	タツミ マサノブ 立身 政信 (65)	平成29年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	講師	タツミ マサノブ 立身 政信 (65)	平成29年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	教授	オカワ カズキ 大川 一般 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	オカワ カズキ 大川 一般 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール 大学の歴史と現在	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	准教授	ホリグミ 堀 久美 (56)	平成28年4月	社会的人間論 地域課題演習G	兼任	准教授	ホリグミ 堀 久美 (57)	平成28年4月	現代社会の社会学 社会的人間論 地域課題演習G	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加・削除
兼任	准教授	好ハラ セイロ 立原 聖子 (41)	平成28年4月	心の理解						
兼任	准教授	ハヤサカ ヒロシ 早坂 浩志 (51)	平成28年4月	心の理解						
兼任	准教授	イマイジュン 今井 潤 (51)	平成28年4月	情報基礎 地域産業・企業論	兼任	教授 准教授	イマイジュン 今井 潤 (52)	平成28年4月	地域課題演習B 情報基礎 地域産業・企業論	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年7月 准教授から教授に昇任(兼任のため教員審査 省略)
兼任	准教授	アンデス カールキビスト Anders Carlqvist (48)	平成28年4月	日本事情A 日本事情B	兼任	准教授	アンデス カールキビスト Anders Carlqvist (49)	平成28年4月	海外研修―世界から地域を考える 地域課題演習E 日本事情A 日本事情B 上級日本語C 上級日本語G 英語で学ぶ日本の文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	准教授	エトリエ 江本 理恵 (45)	平成28年4月	大学の歴史と現在 地域を考える	兼任	准教授	エトリエ 江本 理恵 (46)	平成28年4月	大学の歴史と現在 地域を考える 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	准教授	オカワ(カシマ)ナツミ 尾中(高島)夏美 (58)	平成28年4月	地域課題演習F 英語で学ぶ日本の文化 海外研修―世界から地域を考える―	兼任	准教授	オカワ(カシマ)ナツミ 尾中(高島)夏美 (59)	平成28年4月	地域課題演習F 英語で学ぶ日本の文化 海外研修―世界から地域を考える― キャリアを考える 現代の諸問題 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	教授	マツオカ ヨコ 松岡 洋子 (55)	平成28年4月	上級日本語A 上級日本語E 多文化コミュニケーションA 多文化コミュニケーションB 地域課題演習E 地域と国際社会	兼任	教授	マツオカ ヨコ 松岡 洋子 (56)	平成28年4月	上級日本語A 上級日本語E 多文化コミュニケーションA 多文化コミュニケーションB 地域課題演習E 地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	マーク デュボア Mark de Boer (51)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	兼任	講師	マーク デュボア Mark de Boer (51)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ヤギ イチマサ 八木 一正 (66)	平成28年4月	自然と法則	兼任	講師	ヤギ イチマサ 八木 一正 (66)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	アサノ ロバートケン ASANO ROBERT KEN (46)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(初級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	兼任	講師	アサノ ロバートケン ASANO ROBERT KEN (47)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(初級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級) 英語発展Ⅳ	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	講師	イシカワ ヘギー マリー Ishikawa Peggy Marrie (46)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級)						
兼任	講師	ウリアム オスカー ルイス ヨンセ イ William Oscar Lewis IV (47)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	兼任	講師	ウリアム オスカー ルイス ヨンセ イ William Oscar Lewis IV (47)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	講師	エンドウ スザンネ 遠藤 スザンネ (46)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	兼任	講師	エンドウ スザンネ 遠藤 スザンネ (46)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	エンドウ マサコ 遠藤 雅子 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール キャリアを考える	兼任	講師	エンドウ マサコ 遠藤 雅子 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール キャリアを考える	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	カウ カシ 加藤 隆 (62)	平成28年4月	初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)						

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日 担当授業科目名	
兼任	講師	カウリエ 加藤 理恵 (44)	平成28年4月 上級日本語B 上級日本語C 上級日本語F 上級日本語G	兼任	講師	カウリエ 加藤 理恵 (44)	平成28年4月 上級日本語B 上級日本語C 上級日本語F 上級日本語G	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	カマキナ 亀田 金花 (50)	平成28年4月 初級中国語(発展)					
兼任	講師	カハラマサヒロ 川原 正広 (44)	平成28年4月 対人関係の心理学					
兼任	講師	ギャビンヤング GAVIN YOUNG (50)	平成28年4月 英語総合I(上級) 英語総合I(中級) 英語コミュニケーションI(上級) 英語コミュニケーションII(上級) 英語コミュニケーションI(中級) 英語コミュニケーションII(中級)					
兼任	講師	ゴケイデン 呉 慧敏 (57)	平成28年4月 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語					
兼任	講師	ゴトウ(キダチ)アツコ 後藤(木立)厚子 (48)	平成28年4月 初年次自由ゼミナール	兼任	講師	ゴトウ(キダチ)アツコ 後藤(木立)厚子 (48)	平成28年4月 初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	サウ ノブキ 佐藤 信幸 (64)	平成28年4月 英語基礎	兼任	講師	サウ ノブキ 佐藤 信幸 (65)	平成28年4月 英語総合II(初級) 英語総合II(中級) 英語基礎 英語総合I(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	講師	サウリュウイチ 佐藤 竜一 (57)	平成28年4月 日本の文学					
兼任	講師	シハタサトミ 柴田 聡美 (48)	平成28年4月 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	兼任	講師	シハタサトミ 柴田 聡美 (49)	平成28年4月 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ジョセフアラン Joseph Allan Angerhofer (49)	平成28年4月 英語コミュニケーションII(中級) 英語コミュニケーションI(初級)					
兼任	講師	タウンゼントサイモン Townsend Simon (45)	平成28年4月 英語コミュニケーションI(上級) 英語コミュニケーションII(上級)	兼任	講師	タウンゼントサイモン Townsend Simon (46)	平成28年4月 英語総合II(上級) 英語発展H 英語コミュニケーションI(上級) 英語コミュニケーションII(上級) 英語総合II(中級) 英語発展E 英語発展F 英語発展G	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
兼任	講師	チェシジョン 崔 宰誠 (37)	平成28年4月 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展)					
兼任	講師	チェシジョン 崔 在籍 (58)	平成28年4月 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語					
兼任	講師	チンゼン 陳 茜 (44)	平成28年4月 初級中国語(入門) 初級中国語(発展)					
兼任	講師	ナカヤス タカコ 中安 貴子 (59)	平成28年4月 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語	兼任	講師	ナカヤス タカコ 中安 貴子 (59)	平成28年4月 初級中国語(発展) 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ヒラノユキコ 平野 ユキ子 (63)	平成28年4月 初級フランス語(入門)					
兼任	講師	ブレアベンジヤミン Blair Benjamin Reed (48)	平成28年4月 英語総合I(上級) 英語総合II(上級) 英語総合I(中級) 英語コミュニケーションI(上級) 英語コミュニケーションII(上級) 英語コミュニケーションI(中級) 英語コミュニケーションII(中級) 英語コミュニケーションI(初級) 英語コミュニケーションII(初級)	兼任	講師	ブレアベンジヤミン Blair Benjamin Reed (48)	平成28年4月 英語総合I(上級) 英語総合II(上級) 英語総合I(中級) 英語コミュニケーションI(上級) 英語コミュニケーションII(上級) 英語コミュニケーションI(中級) 英語コミュニケーションII(中級) 英語コミュニケーションI(初級) 英語コミュニケーションII(初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	マサダ エレーナ 増田 エレーナ (37)	平成28年4月 初級ロシア語(入門) 中級ロシア語	兼任	講師	マサダ エレーナ 増田 エレーナ (37)	平成28年4月 初級ロシア語(入門) 中級ロシア語 初級ロシア語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	講師	ヤマグチ ハルキ 山口 春樹 (63)	平成28年4月 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)					
兼任	講師	ヤマモト セツコ 山本 勢津子 (59)	平成28年4月 英語総合I(中級) 英語総合II(中級) 英語総合I(初級) 英語総合II(初級)	兼任	講師	ヤマモト セツコ 山本 勢津子 (59)	平成28年4月 英語総合I(中級) 英語総合II(中級) 英語総合I(初級) 英語総合II(初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ヨコイ イコ 横井 郁子 (54)	平成28年4月 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)					
兼任	講師	イトウ エイロウ 伊東 栄志郎 (50)	平成28年4月 英語総合I(中級) 英語総合II(中級)	兼任	講師	イトウ エイロウ 伊東 栄志郎 (51)	平成28年4月 英語総合I(中級) 英語総合II(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	エンドウ ケンジュ 遠藤 健樹 (35)	平成28年4月 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)					
兼任	講師	カガヤマ アサオ 影山 一男 (57)	平成28年4月 現代社会と経済					
兼任	講師	クマモト テツヤ 熊本 哲也 (57)	平成28年4月 初級フランス語(入門)	兼任	講師	クマモト テツヤ 熊本 哲也 (58)	平成28年4月 初級フランス語(入門)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	クワバトシ アキ 桑原 俊明 (59)	平成28年4月 英語総合I(中級) 英語総合II(中級)					
兼任	講師	コロボフ ドミトリ KOROBOV DMITRY (37)	平成28年4月 初級ロシア語(発展) 中級ロシア語	兼任	講師	コロボフ ドミトリ KOROBOV DMITRY (37)	平成28年4月 初級ロシア語(発展) 中級ロシア語 初級ロシア語(入門)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
兼任	講師	サイトウ アキ 齋藤 俊明 (63)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	兼任	講師	サイトウ アキ 齋藤 俊明 (63)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	サイトウ ナオキ 齋藤 直樹 (45)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)						
兼任	講師	サトウ トモコ 佐藤 智子 (63)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)						
兼任	講師	シーライ 席 時直 (62)	平成28年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展)						
兼任	講師	カハシ ヒロユキ 高橋 秀行 (40)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	兼任	講師	カハシ ヒロユキ 高橋 秀行 (41)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	タナカ ナホコ 田中 宣廣 (54)	平成28年4月	言葉の世界						
兼任	講師	チゴ カヲヒコ 筑後 勝彦 (55)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)						
兼任	講師	トヨシマ マサアキ 豊島 正幸 (64)	平成28年4月	いわて学 I いわて学 II						
兼任	講師	ニューバリー Newbury Daniel Copeland ダニエル	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語総合 II (上級) 英語コミュニケーション II (上級) 英語コミュニケーション I (中級)						
兼任	講師	ハラヤマ ジェームス Franciscus ハレーヤマ (51)	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	兼任	講師	ハラヤマ ジェームス Franciscus James (52)	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除
兼任	講師	ホノエ コミ 細越 久美子 (43)	平成28年4月	対人関係の心理学						
兼任	講師	ラーゼンズ マルカム Larcens Malcome (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション II (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 初級フランス語(入門)						
兼任	講師	ルテラ デイヴィッド Rutella David Owen (51)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	兼任	講師	ルテラ デイヴィッド Rutella David Owen (52)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 英語コミュニケーション I (上級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除・追加
兼任	講師	ルプサ コルネリア Daniela ダニエラ	平成28年4月	英語コミュニケーション II (上級) 英語コミュニケーション I (初級)						
					兼任	講師	アカサカ キャサリン Annne (47)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ファー アラン FARR Alan (70)	平成28年4月	英語総合 II (初級) 英語コミュニケーション II (上級) 英語総合 I (初級) 英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級) 英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (上級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	カワ ヒロキ 河田 裕樹 (67)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	エビサキ 海老澤 君夫 (69)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ヨムラ ヤスキ 吉村 泰樹 (67)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ミヤガウ ヨウイチ 宮川 洋一 (52)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	スナヤマ ミル 砂山 稔 (69)	平成28年4月	中国の文学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ミウラ イサオ 三浦 勲夫 (76)	平成28年4月	英語コミュニケーション II (初級) 英語総合 II (初級) 英語総合 I (上級) 英語総合 II (上級) 英語コミュニケーション I (中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ミウラ ヤスヒコ 三浦 康秀 (67)	平成28年4月	数理のひろがり	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ヤマダ ミスズ 山田 美鈴 (40)	平成28年4月	生命のしくみ	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	講師	コヤマ ハナコ 小山 花子 (42)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	コイケ ショウジ 小出 章二 (49)	平成28年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	コバヤシ ノリコ 小林 徳子 (67)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	マツダテ アツコ 松館 敦子 (54)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	スズキ ミナル 沼田 稔 (73)	平成28年4月	自然と数理	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	スキノウ タツシ 杉浦 直 (71)	平成28年4月	地域と生活 地域と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ホシノ カツシ 星野 勝利 (72)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語総合Ⅰ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ムラカミ タスカ 村上 祐 (71)	平成28年4月	科学と技術の歴史	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	オオカミ ヒサエ 大高 久枝 (59)	平成28年4月	上級日本語H 上級日本語C 上級日本語G	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	オガミ ハルコ 大上 治子 (67)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展B 英語発展C	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	オノスマ ユミ 大嶋 由美 (49)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ナカニシ カチロ 中西 貴裕 (46)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ノケイチ 能登 恵一 (70)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	トシナガ ヨウコ 富永 陽子 (44)	平成28年4月	生命のしくみ 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	ヒライ ハナコ 平井 華代 (42)	平成28年4月	海外研修ー世界から地域を考えるー 地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ヒラノ セイチ 平野 清八 (68)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	シヤマ ユウジ 主演 祐二 (35)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	オガタ ケン 織田 健志 (38)	平成28年4月	日本の思想と文化 アジアの歴史と文化 市民と政治 現代政治を見る眼 初年次自由ゼミナール 心と表象	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ショート ケビン アンソニー Short Kevin Anthony (59)	平成29年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	マハー パトリック ジェフリー Maher Patrick Jeffrey (33)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、 教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	講師	ヤナキ サワフミキ 柳沢 文昭 (68)	平成29年4月	初級フランス語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	サタケ 伊朗 佐竹 一郎 (27)	平成29年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	オサナイ ツム 長内 努 (59)	平成29年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	ヤマサキ ケンジ 山崎 憲治 (70)	平成29年4月	地域課題演習C	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	イトウ ヒロキ 伊藤 博幸 (69)	平成29年4月	地域課題演習D	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	講師	イマタ マサル 猪又 優 (57)	平成29年4月	キャリアを考える 初年次自由ゼミナール 地域課題演習A	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	イシマツ ヒロキ 石松 弘幸 (44)	平成29年4月	地域課題演習F	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	准教授	カワムラ サトシ 川村 暁 (42)	平成29年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加
					兼任	教授	リュウ カイ 劉 海宇 (46)	平成29年4月	地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に 関してクラス編成の変更を行ったため科目を 追加

5 教員組織の状況

<人文社会科学部 地域政策課程>

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	12	0	0	21	7	10	0	0	17	10	11	0	0	21
(9)	(10)	(0)	(0)	(19)						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後	理由
1			必修			
			選択			
			必修			
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1			必修			
			選択			
			必修			
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		該当なし	
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の～すること。	〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<人文社会科学部 地域政策課程>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 (全学) 教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】 (人文社会科学部) 人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会 【規則：別添資料2】</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） (全学) 7回（参加教員14人ほか事務職員2人） (人文社会科学部) 6回（参加教員6人ほか事務職員1人）</p> <p>c 委員会の審議事項等 (全学) FD実施計画, GPA, 学年暦, 卒業生・修了生アンケートについて審議 (人文社会科学部) 学部・課程・専修プログラムレベルでの教育課程を改善するための調査・研究・提案, 個々の教員の教育活動の改善に資する支援, 教育の総合化および専門深化の推進, 学部レベルでのカリキュラムの開発・提案等について審議</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 (全学) ・ 全学FD研修 ・ 授業公開 ・ 授業評価アンケート（前期, 後期各1回）の実施 (人文社会科学部) ・ 人文社会科学部FD研修の実施 ・ 人文社会科学部FD研修報告会の実施 ・ 総合科学論の検討 ・ 授業公開（専門科目）の実施（前期・後期各1回）</p> <p>b 実施方法 (全学) 教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上, 実施 (人文社会科学部) ・ 参加希望の教員を募り, 他機関で開催される講演会およびセミナーを受講した。 ・ 先進的な取り組みをしている大学に連絡を取り, 日時等の調整を行い, 視察に行った。 ・ メール等で周知を行い, 学部教員を対象とした研修会および報告会を開催した。 ・ 新任教員等へ総合科学論の内容および班所属についての説明を行い, 班編制を行った。 ・ 教育推進機構をとおしてHPにて周知を行い, 授業公開（専門科目）を実施した。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（全学）全学FD研修（平成28年9月2日） 教員88名参加

（人文社会科学部）

- ・人文社会科学部FD研修（平成28年9月27日） 教員49名参加
- ・人文社会科学部FD研修（平成29年2月7日） 教員33名参加
- ・人文社会科学部FD研修（平成29年3月21日） 教員52名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

（全学）授業評価アンケート結果を踏まえ、教育推進機構教育推進連携部門において、改善事項の整理し、全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

（人文社会科学部）FD研修をとおして得た知識知見および技能等を学部教員へフィードバックする機会を設け、各課程で改善点の把握を行い、授業改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期に授業アンケートを実施（全学共通教育）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1年目は設置計画を着実に履行した。2年目も引き続き設置計画を履行する予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度 公表予定

b 公表方法

- ・平成28年度～平成30年度における設置計画の達成状況についての自己点検・評価を行い「自己点検・評価報告書」を作成して大学ホームページ上に公開予定（平成30年度中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 29年 7月)

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

(平成26年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関する事。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関する事。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関する事。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関する事。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関する事。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関する事。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関する事。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関する事。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関する事。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

- 2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。
- 3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

- 2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

岩手大学人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会規則

(平成16年4月1日制定)

(設置)

第1条 岩手大学教授会通則第9条の規定に基づき、教授会に岩手大学人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、人文社会科学部の教育方法についての組織的な研究・研修を推進する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 人間文化課程から選出された教員 4名
- 二 地域政策課程から選出された教員 2名
- 三 教務委員会から選出された委員 1名

(任期)

第4条 前条第1号及び第2号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

(専門委員会等の設置)

第8条 委員会が必要と認めた場合は、特定の事項について調査審議させるため、常置又は臨時の専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関して必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、事務部において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は委員会において別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成17年4月19日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。